

琵琶湖の保全再生についてのアンケート結果

★調査時期: 令和8年5月

★対象者: 県政モニター300人

★回答数: 271人 (回収率 90.3 %)

★担当課: 琵琶湖環境部琵琶湖保全再生課

★調査目的:

県では、平成27年(2015年)に施行された「琵琶湖保全再生法」に基づき「琵琶湖保全再生計画」を策定し、琵琶湖の保全・再生に取り組んできました。また、令和3年(2021年)には、県と多様な主体がともに「琵琶湖版SDGs」である「マザーレイクゴールズ(MLGs)」を策定し、取組の輪を広げています。

さらに、令和6年(2024年)には、国連総会において8月27日が「世界湖沼の日」に制定されました。この日は、昭和59年(1984年)に滋賀県・大津市で開催された第1回世界湖沼会議の開会日に由来します。

このアンケートでは、この10年、20年の間における琵琶湖の状況や県民の皆さんとの関わりの変化についてお伺いし、今後の取組の参考とします。このアンケートでは、この10年、20年の間に、琵琶湖の状況がどのように変化してきたのか、また、県民の皆さんと琵琶湖との関わりがどのように変わってきたのか等についてお伺いし、今後の取組の参考にしていきたいと考えています。

■「琵琶湖保全再生施策に関する計画(第3期)」について

<https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/kankyoshizen/biwako/349637.html>

■「マザーレイクゴールズ(MLGs)」について

<https://mlgs.shiga.jp/>

■「世界湖沼の日(World Lake Day):8月27日」について

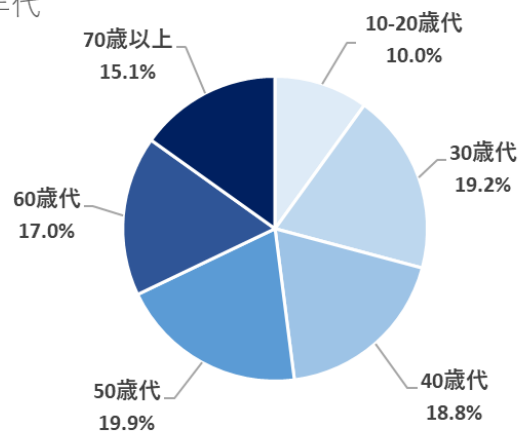
<https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/kankyoshizen/biwako/342674.html>

(四捨五入により割合の合計が 100.0%にならない場合があります。)

◆年代

項 目	人数(人)	割合
10・20 歳代	27	10.0%
30 歳代	52	19.2%
40 歳代	51	18.8%
50 歳代	54	19.9%
60 歳代	46	17.0%
70 歳以上	41	15.1%
合計	271	100.0%

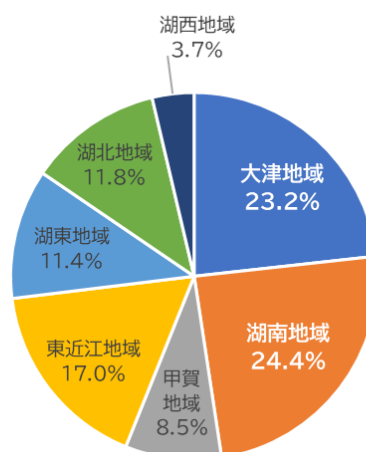
年代



◆地域

項 目	人数(人)	割合
大津地域	63	23.2%
湖南地域	66	24.4%
甲賀地域	23	8.5%
東近江地域	46	17.0%
湖東地域	31	11.4%
湖北地域	32	11.8%
湖西地域	10	3.7%
合計	271	100.0%

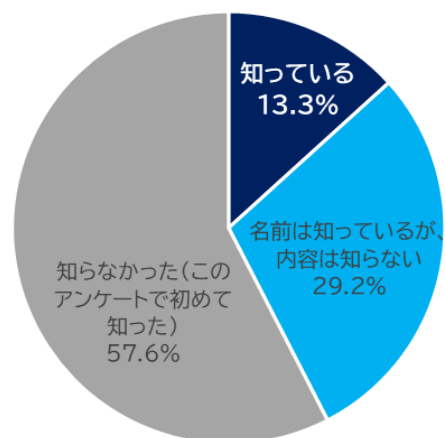
地域



問1 あなたは、琵琶湖に関する県の計画「琵琶湖保全再生施策に関する計画
(琵琶湖保全再生計画)」を知っていましたか。(回答チェックは1つだけ n=271)

項 目	人数(人)	割合
知っている	36	13.3%
名前は知っている が、内容は知らない	79	29.2%
知らなかった(このア ンケートで初めて知 った)	156	57.6%
合計	271	100.0%

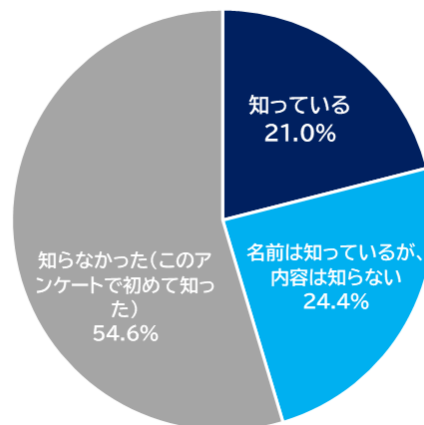
問1



問2 あなたは、琵琶湖版 SDGs「マザーレイクゴールズ(MLGs)」を知っていましたか。
(回答チェックは1つだけ n=271)

項 目	人数(人)	割合(%)
知っている	57	21.0%
名前は知っている が、内容は知らない	66	24.4%
知らなかった(このア ンケートで初めて知 った)	148	54.6%
合計	271	100.0%

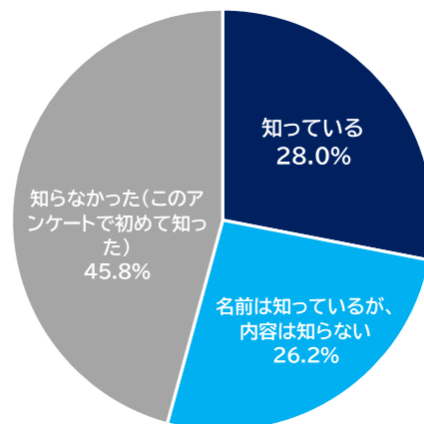
問2



問3 あなたは、国連が定める国際デー「世界湖沼の日(8月 27 日)」を知っていましたか。
(回答チェックは1つだけ n=271)

項 目	人数(人)	割合(%)
知っている	76	28.0%
名前は知っている が、内容は知らない	71	26.2%
知らなかった(このア ンケートで初めて知 った)	124	45.8%
合計	271	100.0%

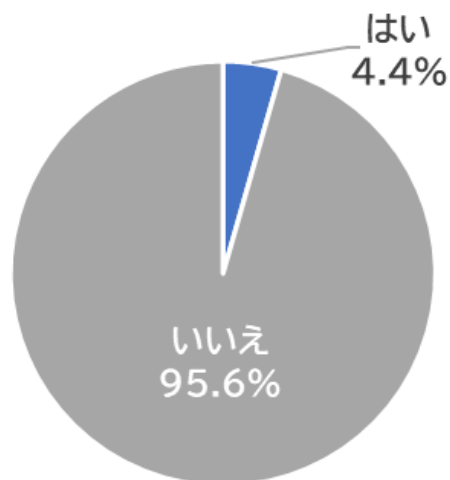
問3



問4 琵琶湖や地域の環境を保全していくため、NPO 等の環境保全団体に所属していますか。
(回答チェックは1つだけ n=271)

項 目	人数(人)	割合(%)
はい	12	4.4%
いいえ	259	95.6%
合計	271	100.0%

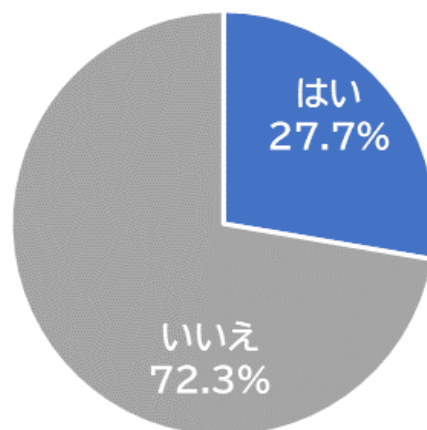
問4



問5 過去1年間に環境保全活動(ゴミ拾い、ヨシ刈り、川の草刈り等)や環境学習(セミナー、学習会、観察会等)に参加したことがありますか。(回答チェックは1つだけ n=271)

項 目	人数(人)	割合(%)
はい	75	27.7%
いいえ	196	72.3%
合計	271	100.0%

問5



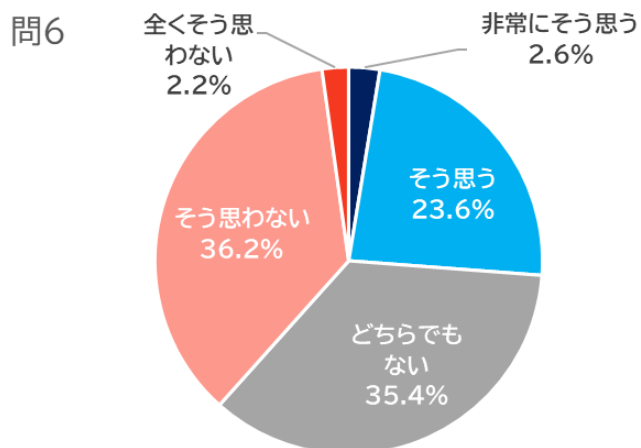
【具体的な活動内容(主なもの)】

- 地域のゴミ拾い
- 琵琶湖一斉清掃
- 竹林整備
- 登山道整備
- 茶畑整備
- エコツアー
- 自然共生サイト説明会
- 子どもを複数の博物館に連れて行くなど
- 野鳥や自然観察会
- MLGs みんなの BIWAKO 会議

- 自主的に湖岸のゴミ拾いを行った
- 滋賀レイクス主催のゴミ拾いイベント
- 野洲のおっさんと一緒にゴミ拾いイベント
- 地域河川沿いの草刈り
- 彦根市の環境セミナー
- 里山保全、田んぼ作り
- 烏丸半島で、アユの稚魚の放流をしました。子ども会の親子参加です。
- ヨシ刈り
- 会社主催の地域ゴミ清掃
- ツバメの巣の観察会(多賀町)

問6 琵琶湖の水質・水量は良好だと思いますか。その理由もあわせて御記入ください(回答チェックは1つだけ n=271)

項 目	人数(人)	割合(%)
非常にそう思う	7	2.6%
そう思う	64	23.6%
どちらでもない	96	35.4%
そう思わない	98	36.2%
全くそう思わない	6	2.2%
合計	271	100.0%



【理由(抜粋)】

問6の回答	その理由
非常にそう思う	水道水がそのまま飲める、水道水を飲んで美味しいと感じるため、琵琶湖の水質は良好と感じています。また、最近、水の使用制限がかからないため、水量が不足していると感じません。 夏には湖水浴をしています。水質水量は、とても良好です。
そう思う	湖畔を歩いていてもペットボトルなどの浮遊物が少ないように思う。 毎日琵琶湖大橋を渡って通勤して 25 年程になりますが過去は水底が見えなかったが今は見えている 湖沼会議のあった頃は、汚かった。下水道が、整備されたり、広報活動 フローティングスクールなどで県民の意識も向上したのではないのでしょうか。

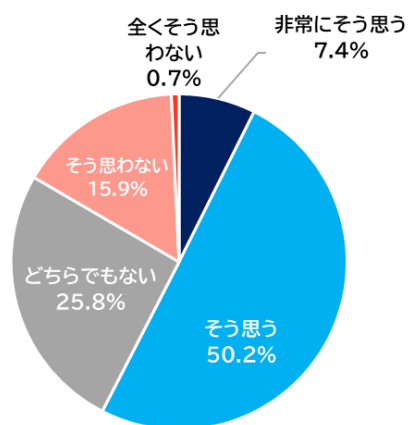
	下水道の普及率が上昇してきたが、高い水準で頭打ち傾向を示しているところまで来ている。また、BOD などの数値も良好な数値で安定している。 我が県として、琵琶湖は大切な環境資源でもある。永年の水質保全活動があり良化してきた。しかし更なる市民への意識付け活動と、継続的な施策が必要である。
どちらでもない	北湖は比較的きれいと言われているが、南湖は赤潮が発生したこともあり、富栄養化が課題と思います。 北湖と南湖で水質の差が大きいため、一律の判断は難しい(北湖であれば、水遊びなど子どもと一緒に楽しみたいが、南湖は触ってほしくない) 昔よりきれいになったと思うが、最近は積雪の減少等で琵琶湖の深呼吸がないと聞くので 北部と南部ではきれいさに雲泥の差がある。特に南部はきれいとはいいがたい。水量は昨年全国的に水不足となっているが琵琶湖のおかげで滋賀県民は安心できている。この状況をそのまま継続する必要があると思います。 水質改善に努力されていて、特別な異常は見受けられないが、もっと美しく出来るのではないかなと思う。また水量は近年雨量が減っており、全国的に渇水情報を見聞きするので多少危惧するところもあり。 水質は、以前よりはきれいになっていると思うが、まだまだ十分ではないと思うのと、北と南の差が結構あるから。
そう思わない	湖魚は好きで、料理屋さんで時折購入しています。昨年末に鮒ずしや鮎の飴炊きやエビ豆を買いに行った際、料理屋さんが「湖魚が取れない、量が減っている」と嘆いていました。そのため、琵琶湖の見た目はよくても、湖の中の環境は悪化しているのだな、と感じました。 琵琶湖の水質水量は良好ではない。なぜなら近年の天候不順により、安定的な水の確保が困難だからである。その反面、琵琶湖の水位が減ったため、湖底に沈む遺跡の確認ができたことは、よかったことだと思います。水の確保については、琵琶湖だけに頼るのではなく、他の方法も検討する時期になっているのではないかと思います。 家の近くを一級河川天野川が流れています、河川敷には背の高い草が生えてますが、これは、河川の富栄養化が進んだ結果だと思います、この水が琵琶湖に流入してるので、水質は悪化してると思います。 およそ 60 年前、自分の子供のころの水質とは比較にならないくらい悪くなっている。自分が子供のころ芹川、琵琶湖では、水泳が出来たし、鮎、シジミ、フナ、メダカなど様々な生き物たちがたくさんいた。今はほぼ見れなくなりました。

	南湖は、とてつもなく未だに、悪臭がする時があるし、風向きなどの都合上仕方ないのかも知れないけど、北湖に比べるとまだまだだと思うからです。
	湖岸に大量のプラスチックごみが落ちているので、プラスチックによる汚染を心配している。せっけん運動が低迷し、ほとんどの人は合成洗剤を利用していることから、化学物質による汚染も心配される。
全くそう思わない	琵琶湖の固有の魚も減ってきているし、環境は良くないと思う。

問7 琵琶湖の生態系は豊かであると思いますか。その理由もあわせて御記入ください(回答チェックは1つだけ n=271)

項 目	人数(人)	割合(%)
非常にそう思う	20	7.4%
そう思う	136	50.2%
どちらでもない	70	25.8%
そう思わない	43	15.9%
全くそう思わない	2	0.7%
合計	271	100.0%

問7



【理由(抜粋)】

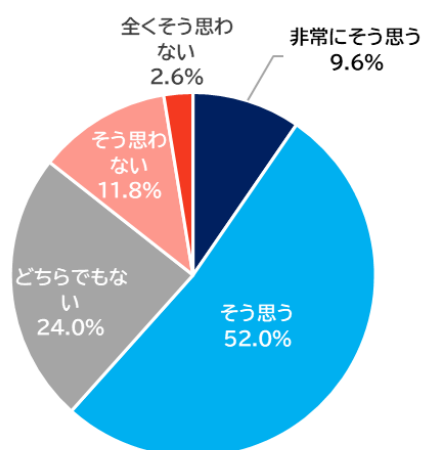
問7の回答	その理由
非常にそう思う	琵琶湖博物館での展示を見て。 琵琶湖には、固有種も含めて約2000種ほどの生物がいるとのことだから、その貴重な生態系を守る必要がある。
そう思う	観察出来る野鳥の種類、シーズン毎に飛来する渡り鳥の数、水鳥の数などは関西屈指の物だと思います。 ビワマスなど、まだ食べることができるから 外来魚がばんばん増えてしまう理由の1つも、「豊か」だからと思います。 一時期はブラックバスなどの外来種により、琵琶湖の生態系が危ぶまれることもありましたが、少しずつ改善しているような気がします。 ただ、今後も様々な外来種からの危機もありますので、この豊かな生態系を守れるように県民もしっかり意識をもつ必要があると思います。 琵琶湖博物館にいて展示を見たことで、実に多様な動植物がいることがわかった。

	琵琶湖には固有種がたくさんいるため。子供のころは父親に連れられてアユやエビやヨシノボリを釣ったり琵琶湖にはたくさん遊んでもらった。絶滅危惧種もいると言われているので未来までこの通りかはわからない。
	琵琶湖博物館で生態系の展示などを見たことがあり、豊かだと思いますが、外来種も増えてきているように思います。
	琵琶湖の長い歴史から、まだ未知の領域があるのでは、との期待も抱いている。
どちらでもない	ブルーギルなどの外来魚の回収ボックスの設置などで 外来種が大幅に減ったけど今度は 外来水草が増えてきた。
	あゆやニジマス、ほんもろことかうなぎとかも取れるときいてびっくりしました！！でもせたしじみなど以前に比べて全く取れなくなったものもあるのでどちらにもないにしました！
	アクア琵琶にもよく行くが、職員さんからなかなか固有系のものが育たない環境になりつつあると伺ったことがあるため。
	生態系は豊かであるとの印象はあるが、一方でそのバランスは流動的であるという印象を受けています。 a. 外来水生植物など水草の異常発生を 10 年以上見聞きしている。 b. ブラックバス・ブルーギルなど外来魚が以前より減少し、琵琶湖の固有魚の回復傾向の情報があること。
	びわ湖でヌートリアを度々見かける。
	既存の魚類に加えて、外来魚などの問題もあり、豊かというよりいずれ外来種ばかりの生態系になるのでは？と思っている。
そう思わない	琵琶湖には多くの固有種が生息していますが、現在はブラックバスなどの外来魚や、オオバナミズキンバイといった外来植物が急増しています。これらが生態系を浸食した結果、在来種や固有種の生息数が著しく減少しており、危機的な状況にあると感じます。人工的な放流や駆除活動に頼らざるを得ない現状を考えると、本来の豊かな生態系が健全に維持されているとは言えず、多様性が損なわれていると思うからです。
	生態系保全のため様々な施策がなされていることは知っているが、現状を見れば充分ではない。生き物の種類、数が大幅に縮小している。60 年以前の琵琶湖沿岸や川では普通にシジミがとれていた。
	外来種の魚が増えていてニュースにも取り上げられています。 それも最近ではニュースにもならない…すごく懸念しています。
全くそう思わない	上下に湖水が循環されない年があると聞き、心配しています

問8 琵琶湖や湖岸の景観は良好であると思いますか。(回答チェックは1つだけ n=271)

項 目	人数(人)	割合(%)
非常にそう思う	26	9.6%
そう思う	141	52.0%
どちらでもない	65	24.0%
そう思わない	32	11.8%
全くそう思わない	7	2.6%
合計	271	100.0%

問8



【理由(抜粋)】

問8の回答	その理由
非常にそう思う	琵琶湖付近を歩いてもゴミは全くなく、自然豊かでとても綺麗だと感じます。ドライブするときは、湖岸を必ず通りたくなります！ 湖周道路を走ったり、湖上遊覧に出かけてもそこから見る景観は素晴らしい。周辺には歴史的にも面白い場所があり、琵琶湖とのかかわりは深い。
そう思う	ビワイチが浸透してきてブランド化された。結果、道路の環境も良くなった。カフェやグランピングなどが増えて琵琶湖一周が過酷な挑戦ではなく日常の健康の維持やレジャーの場となってきている。県民がボランティアとして気軽に琵琶湖を守ろうと参加できる催しが増えていて参加人数も多くなってきている。 竹生島・沖島の島部、彦根城・長浜城・安土城後など歴史的な地域、春の桜の代表地の海津大崎など景観は、観るにことかかないと考えます。また、比叡山・比良山・伊吹山など山岳部から観る景観も見事だと思います。 以前は投棄ごみが浮かんでいる風景も見られたが今はそれを見ることがほとんどない。(琵琶湖のすぐそばに住んでいます。仕事場も敷地の裏が琵琶湖畔です) 琵琶湖の南湖方面から観る対岸の景色はとてもきれいだと思います。北湖は対岸まで幅の広さがとても湖とは思えない、県外から来られた人は総じて海のような、と感慨深げに観ておられます。この雄大な風景をもっとアピールするべきではないかと思います。もっと北に進むと他の湖にはない神秘的な良さが見られるようです。その良さも南湖、中湖、北湖と三つに分けてみるのも観光推進の手法として考えて頂ければどうでしょうか。 これまで湖岸の道路や橋、施設が建設され、また現在も整備が進められている。景観を損なうような建設物が建たない。

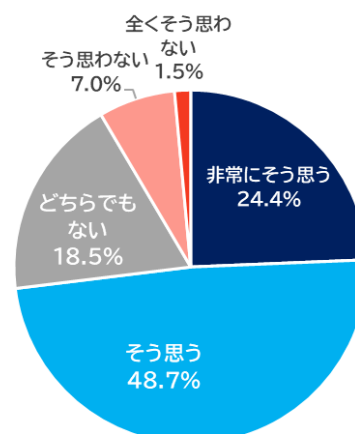
	琵琶湖は国定公園になっているから、勝手に開発等はできないゆえに、景観等は守られていると思う。
	景観は 30 年前に比較すると大変よくなってきているものの、いまだにゴミをポイ捨てする人が後を絶たない現状です。これなどをなくすための教育指導がもっと必要かと思われます。
	どの街も整備が綺麗にされていて写真に映えるようなスポットも増えているので。
どちらでもない	場所による！人目につくような場所は多少なりとも整備されておりきれいと思うが、残念…と思う箇所もある。
	遠くから見ると美しいが、近くに行くとゴミが散乱している。
	県民以外の人、例えば観光客など様々な人が多く滋賀に来るようになったが、マナーの悪さ、文化の違い、ゴミ箱の設置の有無等により一見綺麗に整備されてるように見えても実はとても汚い。
	見た目の整備も進んでいると思う反面、自転車道整備のために樹木の伐採等が行われ、防風林の役目もしていた木がなくなってしまったから。
	埋め立て開発による人工物が目立ち琵琶湖そのものの自然体な景観が少なくなってきている。
そう思わない	大津市は琵琶湖岸にマンションが増えすぎた。湖岸が隠されてしまい、見えない。
	琵琶湖自体の自然は豊かであるものの、それを活かした観光資源の開発やPR、周辺インフラの整備が不十分だと感じる。他県に比べて魅力的なスポットへのアクセスや情報発信が弱く、景観の良さを観光客に届ける施策が上手くいっていない印象を受ける。単に自然をそのまま残すだけでなく、訪れたくなる見せ方の工夫が必要だと思う。
全くそう思わない	琵琶湖近くの木々が最近よく伐採されているから。また湖岸にキャンプ場ができているのも環境破壊につながるのではないかと心配している。

問9 日常的な生活、文化、学習の場として、人々と琵琶湖との関わりは深いと思いますか。

(回答チェックは1つだけ n=271)

項 目	人数(人)	割合(%)
非常にそう思う	66	24.4%
そう思う	132	48.7%
どちらでもない	50	18.5%
そう思わない	19	7.0%
全くそう思わない	4	1.5%
合計	271	100.0%

問9



【理由(抜粋)】

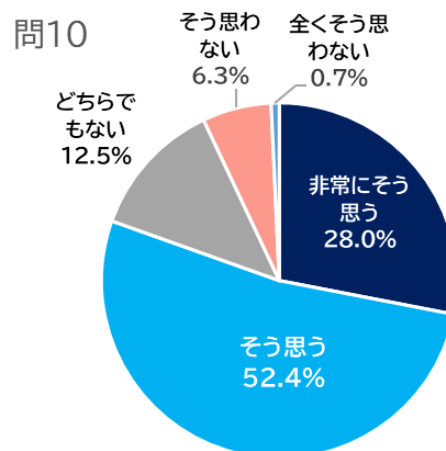
問9の回答	その理由
非常にそう思う	滋賀県の小学生は「うみのこ」でのフローティングスクールを通じて、全員が琵琶湖の環境や生態系について深く学ぶ機会があります。この体験は、日常生活や文化の中で琵琶湖とのつながりを実感する大きなきっかけとなっており、県民の学習の場として人々の意識に深く根付いていると感じるため、そう思います。
	滋賀県民は琵琶湖、琵琶湖に注ぐ河川、源流の山々、植物、生き物を総体的に身近に触れ、日々生活している。自然を学ぶ場所であり、遊びやスポーツなど憩いの場所であり、信仰祭りなどの精神の拠り所であり、人々と琵琶湖は切り離せないと思う。
	琵琶湖により生活がささえられており、琵琶湖があることが当たり前で生活している。
	滋賀県民は琵琶湖の大切さを小さい時から学んでいると思う。大人になってから、地域を離れても、やはり心落ち着くのは琵琶湖だった。私は単身赴任で、いろいろ飛び回っているのですが、特にそう思いました。
そう思う	琵琶湖でとれる魚やエビなどを使った伝統的な料理が多くの人に食べられている。多くの県民が学習船や湖水浴など琵琶湖で楽しんでいる。
	二代目の学習船うみのこの継続。5年生の子供らが主体的に琵琶湖に向き合っ
	て学習し、それを家庭に持ち帰って家族と共有してる。
	琵琶湖は近畿の水瓶との意識は強く持っています。
	校外学習の場として琵琶湖は大きな役割を果たしているのではないかと。自身の居住地からは離れているが、「琵琶湖がある」という意識は根底にある様に思う。それは滋賀県に住む方々の文化を支える大きな存在だと思う。

	日常的な生活では京阪神の生活水として重要であることの他、小学生の学習船うみのこでの学習体験やびわこ湖大花火大会をはじめとする滋賀県各地での花火大会、琵琶湖の水質保全と地域振興をテーマとしたフェストイナズマ、年一回行われる琵琶湖市民清掃の参加など年齢を問わず人々にとって琵琶湖との関わりは深いと思います。 毎年小学生が船上教育として熱心に学習する姿は将来の学習機会、また、就業機選択の元になるでしょう。 私は県外からの転入者ですが、滋賀県に住むようになって最初に感じたのは、県民の皆さんが琵琶湖を大切にし、誇りに思っていることでした。 琵琶湖は関西の多くの地域で生活用水や産業用水として利用されており、人々の暮らしと深く関わっています。また、湖に関する祭りや漁業文化など、古くから受け継がれてきた文化も多く存在します。一方で、環境学習や地域学習の場として十分に活用されているかについては、やや疑問が残ると考えます。
どちらでもない	県外出身者は琵琶湖との関わりは深くはないと思います(私は県外出身者です)。日常生活で琵琶湖に関わることはほぼないです。一方、滋賀県出身者は琵琶湖との関わりは深いと思います。 琵琶湖が身近な場所にある県民は関わりが深いと思いますが、関わらない生活をしている人はまったく興味がないかと思います。学生時代までは琵琶湖の学習は多かったと思いますが、大人になるとその機会もなくなります。 滋賀県は、「うみのこ」で小学生の時に琵琶湖に親しむ機会がありますが、それ以降にあるのでしょうか？琵琶湖に行く機会も貧困格差により個々に違いがあると思います。だれでもいつでも行けるのでしょうか？ 良くも悪くも特に意識をするでもなく日常生活に溶け込んでいる。そうした日常のなかで、無意識に琵琶湖を感じている(関わっている)ひとも多いと思う。
そう思わない	私は琵琶湖に面していない町に居住しています。そのため、子供のころから田園や山に親しんでいました。そのため、琵琶湖は概念的なもので、生活や(普段の暮らしの)文化にかかわっていない印象です。尤も、琵琶湖に面している市町の方の印象は全く逆だと思います。
全くそう思わない	日常的に琵琶湖を意識することはないし、琵琶湖に関する文化や知識について学習しようとするきっかけもメリットもないため。滋賀県で幼少期から育った人には思い入れのあるものなのかもしれないが、外部から来た自分と琵琶湖には特に関わりを感じることはないし、それが問題とも思わない。

問 10 琵琶湖は、漁業や観光など産業資源として役立っていると思いますか。

(回答チェックは1つだけ n=271)

項 目	人数(人)	割合(%)
非常にそう思う	76	28.0%
そう思う	142	52.4%
どちらでもない	34	12.5%
そう思わない	17	6.3%
全くそう思わない	2	0.7%
合計	271	100.0%



【理由(抜粋)】

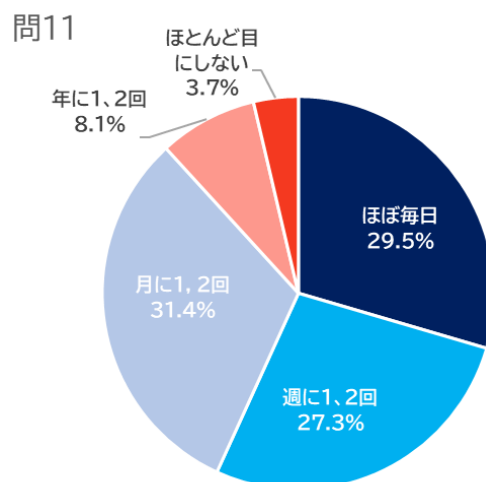
問 10 の回答	その理由
非常にそう思う	琵琶湖の漁業は、ビワマスやモロコなどの特産魚が観光と結びつくことで価値を高め、地域経済に貢献すると共に、地元の食文化も支えています。また、観光面では、美しい湖畔やマリンスポーツ、豊かな自然景観に加え、琵琶湖の存在により鉄道や湖岸道路が環状に整備されていることが、多くの観光客を引き寄せています。これにより宿泊業や飲食業など関連産業の活性化にも寄与し、これらの産業資源は地域経済の基盤となっています。
	琵琶湖は古来より淡水魚の漁業が盛んで、また琵琶湖の水運は地方から京の都への物流の要として、重要な役割を果たしてきました。現在は更に加えて観光資源としても重要な役割を果たしており、更に重要な滋賀の経済を支えるものとして、水を必要とする工場が多く琵琶湖の周囲に点在して滋賀県の経済や雇用を支えていることは、県民皆が知るところです。また、稲作を中心とした農業も琵琶湖の水に支えられています。
	県外に友人に話を聴いても滋賀県イコール琵琶湖というくらい全国的に知名度が高いから。 ビワイチとしてサイクリストにも人気が高く、よく見かけるから。
	小中学校の給食では、琵琶湖のしじみなど食材を使っているため漁業も役立っていますし、マリンスポーツや琵琶湖をめぐるツアーなども組まれているので、観光資源が豊富だと思います。
	琵琶湖は県の 6 分の 1 の面積を誇るのならば、観光、漁業に関わらないはずがないと思いました。
そう思う	鮎やワカサギをお土産に使っている。また、遊覧船に乗船し湖上からの比良山系、近江富士など素晴らしい景観は、観光に大いに役立っている。
	県外からビワイチに琵琶湖を訪れたと話に聞くから。

	琵琶湖の漁で生活している方や、湖魚の加工品で生活している方も多く、産業資源として役立っていると思います。観光資源としては、「眺める」がメインで、過去のような湖水浴や遊覧船、琵琶湖を眺めながらの食事等はないため、観光資源としては役立っていないと思います。
	特に漁業面の産業資源、また自然学習の場として役立っていると思う。 観光資源としてはこれから発展するのではなかろうか。
	道の駅や産直で、湖魚の佃煮や鮎寿司、鮎の塩焼きなど売っていて、皆さん結構買っているし、道の駅や産直自体がドライブ中の観光として利用されている。
	琵琶湖があることにより、京都・大阪など近畿圏に影響を与え役立っている。
	特に漁業面の産業資源、また自然学習の場として役立っていると思う。 観光資源としてはこれから発展するのではなかろうか。
	近江舞子では、琵琶湖で遊べる施設があり、多くの観光客が県外から来ているから。
	日本で一番大きい琵琶湖は、その存在が、まずあると思います。ただ、瀬田川のしじみなどの量が減少し、以前の賑わいが減少しているのを危惧します。
	びわ湖を中心に周辺地域で祭りや花火などが開かれているから。
どちらでもない	琵琶湖の環境悪化に伴う漁獲量の減少、従事者の高齢化など漁業はジリ貧状態である。観光では琵琶湖の真の魅力がまだまだ日本人に知られていない。高速道路サービスエリアからついでに眺める人ばかり。実際に湖岸を歩き、琵琶湖と山々を味わって欲しい。
	観光資源は、揃っていると考えます。その資源が、十分に活用されているかと考えると、不十分だと思う。理由は、幾つかあるが次の三点を挙げる。 ・地域(行政他に単位)の連携が、やや不足。 ・琵琶湖か歴史か両立か焦点がやや絞れていない。 ・核となる宿泊設備の不足。
そう思わない	日常生活において、琵琶湖の漁業や観光の恩恵を直接受けているという実感はほとんどありません。周辺に住んでいても、日常の消費行動やレジャーで琵琶湖の存在が地域の産業資源として強く結びついていると感じる機会が乏しいのが現状です。また、漁業の衰退や環境問題のニュースを目にすることも多く、産業として十分に機能し、地域経済に大きく役立っているという印象を強く持つことができないため、そう思わないを選択しました。
	現状ではあまり役立っているとは言えない。漁業も瀬田シジミなど、ポピュラーで無くなっているのでは。また観光面においても、ブランド力も弱く、他県の富士五湖や諏訪湖、浜名湖等々にも学びイベントなども企画し集客力を高めなければ日本一大きいびわ湖の名前が惜しい。全く別論となるが、県名をびわこ県に変えるなど大胆な発想検討が必要だ。

全くそう思わない	漁業で収入を得ている人には良いかも知れませんが、湖水浴も自由にできないような荒れ具合です。一般の人間が琵琶湖に近づくことができなくなっています。
----------	--

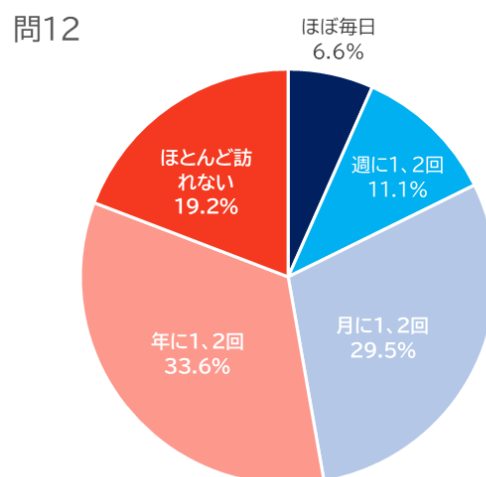
問 11 どのくらいの頻度で琵琶湖を見ますか。(回答チェックは1つだけ n=271)

項 目	人数(人)	割合(%)
ほぼ毎日	80	29.5%
週に1、2回	74	27.3%
月に1、2回	85	31.4%
年に1、2回	22	8.1%
ほとんど見ない	10	3.7%
合計	271	100.0%



問 12 どのくらいの頻度で琵琶湖を訪れますか(湖岸公園・湖水浴などの利用を含む)。(回答チェックは1つだけ n=271)

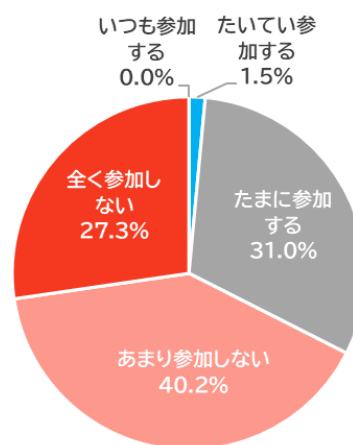
項 目	人数(人)	割合(%)
ほぼ毎日	18	6.6%
週に1、2回	30	11.1%
月に1、2回	80	29.5%
年に1、2回	91	33.6%
ほとんど訪れない	52	19.2%
合計	271	100.0%



問 13 琵琶湖に関する催し物(イベントや講演、シンポジウムなど)があった場合、どのくらいの頻度で参加していますか。(回答チェックは1つだけ n=271)

項 目	人数(人)	割合(%)
いつも参加する	0	0.0%
たいてい参加する	4	1.5%
たまに参加する	84	31.0%
あまり参加しない	109	40.2%
全く参加しない	74	27.3%
合計	271	100.0%

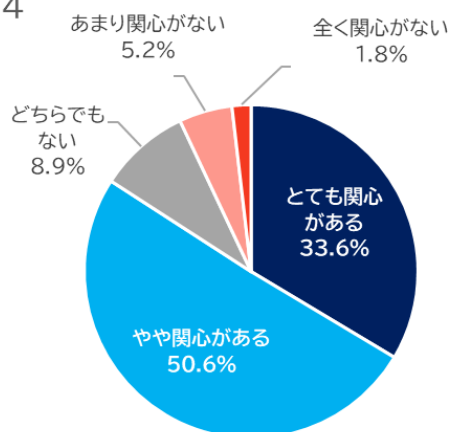
問13



問 14 新聞やテレビなどで琵琶湖に関するニュースについて、関心がありますか。
(回答チェックは1つだけ n=271)

項 目	人数(人)	割合(%)
とても関心がある	91	33.6%
やや関心がある	137	50.6%
どちらでもない	24	8.9%
あまり関心がない	14	5.2%
全く関心がない	5	1.8%
合計	271	100.0%

問14

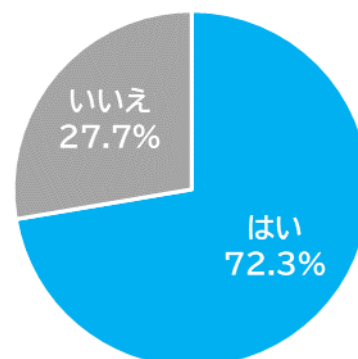


問 15 あなたは、家庭排水をできるだけ汚さないように、何か気をつけていますか。

(回答チェックは1つだけ n=271)

項 目	人数(人)	割合(%)
はい	196	72.3%
いいえ	75	27.7%
合計	271	100.0%

問15



【気をつけていること(抜粋)】

- 調理ででた油は排水に流さず、紙に吸わせて燃えるゴミでだしている。
- 脂っぽい料理は先にお皿を紙でふき取ってから洗ったり、洗濯はなるべくまとめたり、入浴も最低限で生活をしています。汚さないように、無駄に使用しないようにも気を付けています。
- 洗剤を使いすぎないようにしています。食べ残しをしないようにする。洗剤は重曹やクエン酸などを使用する。
- 些細なことだが油ものは必ずキッチンペーパーで吸い上げてから洗うようにしてる。大萱の水道センターの見学を学生時代したことがあり、それ以来継続している。
- 集落排水を利用しており、台所からごみを出さないように、また、油脂分を先にふき取っておくこと、必要以上に洗剤を使わないようにしていること等。
- 我が家では、調理にあたっては天ぷらなどの油を多く使用する献立はメニューから外しています。食器用洗剤は環境に配慮したものを使用し、極力少量使用を心がけています。
- 無洗米を食べている。
- 食後の食器は、洗浄前に出来る限り拭き取って洗浄水を汚染しないことを心掛けている。
- お皿の汚れは布や紙で事前にふき取る。洗濯、掃除、皿洗いには廃食油リサイクル粉せっけんを使用している。
- 家庭でできることは限られますが、以下について気を付けています。
 - a. 鍋などについた油汚れはできるだけふき取って排水に流さない。(食用廃油は流さない)
 - b. 生ごみの回収
 - c. 食器類の洗浄水の量を可能な範囲で削減する。
 - d. 洗濯の水量を少なくする(洗濯回数、水位、すすぎ回数)ように配慮する。
- 琵琶湖へ生活污水排出は負荷のかからないように最善の注意を払っております。油分の廃棄は燃えるゴミに固形化して排出。琵琶湖条例を遵守する気持ちで生活しております。
- 洗濯は風呂水を利用している。
- 料理のときに出る生ごみや、残飯をあまり出さないようにしている。出た場合はコンポストに入れている。

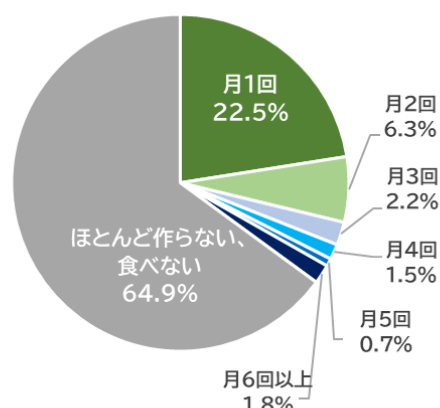
- 雨水も積極的に利用する。
- 食器用洗剤を使い過ぎないようにしている。
- 洗剤は、リンの入っていないものを使用することを守っている。
- 田んぼからの泥水落水防止
- 台所排水に気をつけている
- 洗い物をする際に油汚れをなるべく拭き取ったりしてから洗うように心がけている
- 食用油を流さない、洗剤やシャンプーは環境に良いものを使っている。

問 16 あなたは、どの程度の頻度で、琵琶湖で捕れた魚や貝を使って料理を作り、食べますか。

(回答チェックは1つだけ n=271)

項 目	人数(人)	割合(%)
月1回	61	22.5%
月2回	17	6.3%
月3回	6	2.2%
月4回	4	1.5%
月5回	2	0.7%
月6回以上	5	1.8%
ほとんど食べない	176	64.9%
合計	271	100.0%

問16

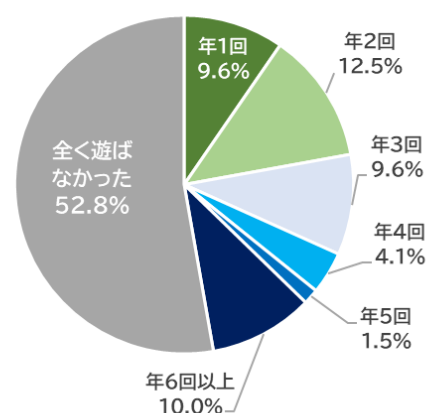


問 17 あなたは、過去1年間に何回、琵琶湖や川で遊んだことがありますか。

(回答チェックは1つだけ n=271)

項 目	人数(人)	割合(%)
年1回	26	9.6%
年2回	34	12.5%
年3回	26	9.6%
年4回	11	4.1%
年5回	4	1.5%
年6回以上	27	10.0%
全く遊ばなかった	143	52.8%
合計	271	100.0%

問17



【どのようにして遊んだことがあるか(抜粋)】

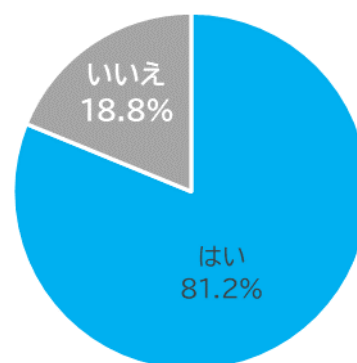
問 17 の回答	その理由
1回	湖水浴
	自然観望、観察
	膝下くらいまでの水遊び
	水遊び
2回	こどもの行事
	手長海老を探しに行った
	水遊び
	友達とピクニック
	川遊び
	SUP や、バーベキュー
3回	釣り
	散歩や水族館の利用
	湖岸での休息や遊覧船に乗船しました。
	散歩や湖岸にキャンプチェアを置いて読書
4回	散策
	マキノで湖水浴、花火の鑑賞、長浜城付近の散策等
5回	遊びでは無いですが、ボート競技などのスタッフで参加してます。
6回	釣り
	高島市の綺麗な水で夏場泳いで遊んだ
	びわ湖や川で、仲間と集まり BBQ したりしてコミュニケーションをとっている。
	散歩、バードウォッチング

問 18 あなたは、自分の住む地域の洪水ハザードマップを知っていますか。

(回答チェックは1つだけ n=271)

項 目	人数(人)	割合(%)
はい	220	81.2%
いいえ	51	18.8%
合計	271	100.0%

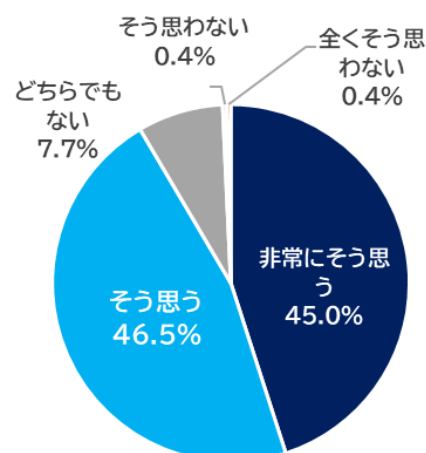
問18



問 19 あなたは、琵琶湖や河川を大切に思っていますか。(回答チェックは1つだけ n=271)

項 目	人数(人)	割合(%)
非常に思う	122	45.0%
思う	126	46.5%
どちらでもない	21	7.7%
そう思わない	1	0.4%
全くそう思わない	1	0.4%
合計	271	100.0%

問19



【理由(抜粋)】

問 19 の回答	その理由
非常に思う	貴重な淡水資源として。
	滋賀県の豊かな自然(水産、農業)を支えているのは琵琶湖だから。
	大阪、京都の大事な水瓶。
	後世に受け継いでいく大切なものだから。
	琵琶湖や河川は私たちの生活や自然環境の基盤であり、豊かな水資源や生態系を支えています。だからこそ、今だけでなく将来にわたって決して汚すことなく、清らかな状態で子孫に引き継ぐことが何より大切です。私たちの責任として、我々の出来る範囲で環境保全に努め、琵琶湖や河川の美しさと恵みを未来の世代にしっかりと伝えていきたいと強く願っています。
	子どもたちにも引き継ぎたいから。
	琵琶湖があるからこそ洪水被害も少なく、豊かに生活に水をつかえていると思うから。
	「琵琶湖」は滋賀県の大切なシンボルのため
思う	琵琶湖の自然環境を維持しようとして。
	観光に訪れた人達は当たり前ですが、遊びに来た人達にも綺麗、来て良かった見て良かったと感じてもらう。
	美しく後世に残して行きたいから
	子どもたちが大人になってもきれいな琵琶湖を残して行きたい
	環境破壊が問題になっているので。
	琵琶湖は私達のマザーレイクだから
	川が整備されている。
	他県にいた時よりも水資源を大切にしたいと思うようになったため。
どちらでもない	特に意識をしたことがないから。

そう思わない	日常生活の中で琵琶湖や河川の存在を身近に感じる機会が少なく、環境保全について深く考えるきっかけが日常的にないためです。現時点では特別な愛着や「大切にしたい」という強い意識を持つにいたっていないのが率直な理由です。
--------	--

問 20 その他、琵琶湖の保全について御意見がありましたらお聞かせください。(抜粋)

- 琵琶湖は県民のみならず京阪神の人々の水瓶であることから、琵琶湖の保全は、最重要である。
- 100以上の河川が琵琶湖に注ぎ込んでいるが、それら河川の水質管理はどの位できているのか気になる。近くを流れる小さな河川(伊佐々川)は時折油が浮いていたり茶色に着色することがあり、これが琵琶湖の水源の一部になっていると思うと暗澹たる気分になる。
- ゴミのポイ捨てが多いので、それを防ぐ活動を
- ゴミのポイ捨ての罰則をもっと厳しくする
- ゴミをポイ捨てしないタイプの人が琵琶湖のイベントなどでゴミ掃除などをしていて、環境に興味がない人がばんばんポイ捨てをしている。その理不尽な事実を目を背けず、ポイ捨てをしない人を育てるように全国で幼少期からの教育が必要と感じる。
- なんか全県的に琵琶湖を愛する運動はないものか
- びわ湖に遊びに来て、ごみを捨てる輩がいるので、そういう湖岸で水泳場、BBQ などできる場所の管理、整備を年中やってほしい。
- もっと琵琶湖を観光の目玉に出来たら良いと思う。例えば他府県の方も含めて親子でうみのこ体験。漁師体験。川をボートで下りながら地元の方から話を聞き滋賀の歴史に触れるなど。
- 外来魚等の駆除と持ち込まないことへの啓発
- 外来種の駆除が最大の課題だと思います
- 外来種の問題が大きいとよく聞かすが、オオクチバスは減ってきているとか資料を目にするまでしなかった。今年はワカサギが釣れなかったのはギルの影響と何かで見たけれど、実際のところ現状どんな影響が及ぼされているのか、どんな変化があるのかなど、具体的なことが全然見えない。もっと琵琶湖保全の啓発に力を入れたらいいのではないかなと思っている。
- 環境や景観が悪化するような開発より、自然豊かな環境や景観守ることに行政として取り組んでほしい。絶滅危惧種が増えていると先日の新聞で知り、環境の悪化が影響していることだと感じました。環境保全の活動をできる形でやっていきたいと思っています。
- 観光客やレジャー利用者の増加は地域活性化につながる一方、一部のゴミ放置や騒音、水上バイクのマナー違反などが懸念されます。琵琶湖の美しい自然環境を守るためには、ルール違反への取り締まり強化や、マナー啓発活動が不可欠です。また、観光客から環境保全協力金を募るなど、観光振興と環境保全の財源確保を両立させる具体的な仕組みづくりを検討してほしいです。
- 近年 JR 沿線を中心に田圃がどんどん宅地開発され減少し、山林を開発して道路建設が盛んです。以前のような滋賀県らしい田舎っぽさが南部から失われ、それがより北の方にも広がっています。まちの発展、人口の増加としては喜ばしいことなのかもしれませんが、一方で、それらが結果的に、将来の琵琶湖の保全に取り返しのつかない悪影響を及ぼすのではと懸念しています。滋賀県の発

展のために一辺倒にも見える開発の活発化をうまくコントロールして、自然豊かな琵琶湖、およびそれを取り囲む山々や河川を堅持してほしいと心から望みます。

- 県内だけでなく県外の人にもどの様に琵琶湖の保全を行っていくのか知らせるといいと思う
- 全世代に琵琶湖について学習できる機会を増やす。特に小中高で環境学習を必須にする。
- 中々、琵琶湖から離れて住む人間にとってはアクセスする機会が限られ、直接的なアクションに関われない欠点があると思う。琵琶湖産の魚介類を店頭で見る機会も少ないため味わうこともほとんどないと言える。もう少し、魚介類を使った料理、総菜についてスーパーマーケットなど商業施設と連携してアピールしていったらどうかと思う。まずは味わってもらい、良さを理解してもらい、琵琶湖やそれを取り巻く環境を守っていかなくてはならない、という意識の醸成に役立つのではないだろうか。
- 琵琶湖の自然や生態系を守ることは、滋賀県のみならず日本全体、いや人類としての使命であると思います。現在滋賀県は大阪・京都で価格が高騰している住宅の受け口となっていて、そのためには大規模マンションが次々と計画され、琵琶湖の自然と景観を破壊するような無謀な開発が続いています。大津市では待機児童数全国一という不名誉な事態になり、また大規模マンションの建設で鉄道の輸送キャパを超える恐れのある地域も想定されます。滋賀県は滋賀県だけで解決を図ることではなく、流域の府県や国にもしっかりと受益者負担の観点から琵琶湖の自然や生態系を守るべき対応を求めていくべきかと思います。
- 琵琶湖の保全のため県民ができることは、まずゴミ拾いではないか。県、市町村で琵琶湖岸及び河川のゴミ清掃のための組織化と実施をしていただきたい。時間に余裕あり、琵琶湖を愛する高齢者などを中心に人を集め、例えば年に2回春・秋に数日間実施する。国勢調査の調査員と同じような業務委託方式で出来るのではないか。また、県民全員に家庭排水が琵琶湖に及ぼす悪影響についての実態を積極的に周知し、琵琶湖保全に取り組む県民意識を高めて欲しい。